

祈りのときに使用できる聖書の約束

神はみ言葉を通してたくさんの約束をおあたえになりました。それらの約束に基づいて祈ることは、わたしたちの特権です。主のご命令と勧告は、すべて約束です。主は、ご自身の力によってわたしたちが成し得ないことをするように求められることは決してありません。

わたしたちが祈るとき、自らの必要、困難、課題ばかりに目を向け、自分が直面している状況について嘆き訴えることは非常にたやすいことです。これは祈りの目的ではありません。祈りは、わたしたちの信仰を強めるものです。神の約束に基づいて祈ることをおすすめする理由はここにあります。神の約束は、自分自身の弱さではなくキリストに目を向けるための助けとなります。主のみ姿に変えられるのは、主を見上げることによるのです。

「神の御言葉の中にある約束は、すべてわたしたちのためのものです。信仰によって願い求めるならば、あらゆる霊的な祝福を受け取るという神の御言葉は確かな約束です。求め続けるなら、あなたが求めるよりはるかに、あり余るほど豊かに受けることができるのです」(“In Heavenly Places” p.71)。

約束に基づいて祈るためには、どうすれば良いでしょうか。例えば、平和について祈り求めるとき、ヨハネによる福音書 14 章 27 節を用いて祈ることができます。

「主よ、あなたはこうおっしゃいました。『わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな』。あなたが約束された平和を与えてください」。

その場ですぐに与えられたと感じなくても、主が平和を与えてくださることを感謝しましょう。

聖霊の約束（口語訳）

「あなたがたは春の雨の時に、雨を主に請い求めよ。主はいなずまを造り、大雨を人々に賜い、野の青草をおのおのに賜わる。」(ゼカリヤ 10 : 1)

「このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとするれば、天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあろうか。」(ルカ 11 : 13)

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであらう。…それがきたら、罪と義とさばきについて、世の人の目を開くであらう。」(ヨハネ 14 : 26、16 : 8)

聖霊の約束（新共同訳）

「春の雨の季節には、主に雨を求めよ。主は稲妻を放ち、彼らに豊かな雨を降らせ／すべての人に野の草を与えられる。」(ゼカリヤ 10 : 1)

「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」(ルカ 11 : 13)

「しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる…その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。」(ヨハネ 14 : 26、16 : 8)

「よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。」(ヨハネ 14 : 12~14)

「すると彼はわたしに言った、『ゼルバベルに、主がお告げになる言葉はこれです。万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。』」(ゼカリヤ 4 : 6)

神が祈りに応えてくださる という約束(口語訳)

「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」(ヨハネ 15 : 7)

「だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づくのではないか。」(ヘブル 4 : 16)

「そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう。」(マルコ 11 : 24)

「悩みの日にわたしを呼べ、わたしはあなたを助け、あなたはわたしをあがめるであろう。」
(詩篇 50 : 15)

「また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせらるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。」(マタイ 18 : 19)

「また、祈るとき、信じて求めるものは、みな与えられるであろう。」(マタイ 21 : 22)

「わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。」(ヨハネ 14 : 13、14)

「はっきり言うておく。わたしを信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる。わたしが父のもとへ行くからである。わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。」(ヨハネ 14 : 12~14)

「彼は答えて、わたしに言った。「これがゼルバベルに向けられた主の言葉である。武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって、と万軍の主は言われる。」(ゼカリヤ 4 : 6)

神が祈りに応えてくださる という約束(新共同訳)

「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。」
(ヨハネ 15 : 7)

「だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づくではありませんか。」(ヘブライ 4 : 16)

「だから、言うておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる。」(マルコ 11 : 24)

「それから、わたしを呼ぶがよい。苦難の日、わたしはお前を救おう。そのことによって／お前はわたしの栄光を輝かすであろう。」(詩編 50 : 15)

「また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえて下さる。」(マタイ 18 : 19)

「信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる。」(マタイ 21 : 22)

「わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。」(ヨハネ 14 : 13、14)

「その日には、あなたがたがわたしに問うことは、何もないであろう。よくよくあなたがたに言うておく。あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるであろう。今までは、あなたがたはわたしの名によって求めたことはなかった。求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなたがたの喜びが満ちあふれるであろう。」(ヨハネ 16 : 23、24)

「わたしたちが神に対していただいている確信は、こうである。すなわち、わたしたちが何事でも神の御旨に従って願い求めるなら、神はそれを聞きいれて下さるということである。そして、わたしたちが願い求めることは、なんでも聞きいれて下さるとわかれば、神に願い求めたことはすでにかなえられたことを、知るのである。」(ヨハネ 1・5 : 14、15)

神の力の約束 (口語訳)

「主にとって不可能なことがありますか。」(創世記 18 : 14)

「主があなたがたのために戦われるから、あなたがたは黙していなさい。」(出エジプト 14 : 14)

「人にはできないが、神にはできる。神はなんでもできるからである。」(マルコ 10 : 27)

「あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。」(テサロニケ 1・5 : 24)

「わたしは知ります、あなたはすべての事をなすことができ、またいかなるおぼしめしでも、あなたにできないことはないことを。」(ヨブ 42 : 2)

「人にはできないが、神にはできる。神はなんでもできるからである。」(マルコ 10 : 27)

「それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わないことがあろうか。」(ローマ 8 : 31、32)

「神は人のように偽ることはなく、また人の子のように悔いることもない。言ったことで、行わないことがあろうか、語ったことで、しとげないことがあろうか。」(民数記 23 : 19)

「その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきり言うておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」(ヨハネ 16 : 23、24)

「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既になえられていることも分かります。」(ヨハネ 1・5 : 14、15)

神の力の約束 (新共同訳)

「主に不可能なことがあろうか。」(創世記 18 : 14)

「主があなたたちのために戦われる。あなたたちは静かにしていなさい。」(出エジプト 14 : 14)

「人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。」(マルコ 10 : 27)

「あなたがたをお招きになった方は、真実で、必ずそのとおりにして下さいます。」(テサロニケ 1・5 : 24)

「あなたは全能であり／御旨の成就を妨げることはできないと悟りました。」(ヨブ 42 : 2)

「人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。」(マルコ 10 : 27)

「では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。」(ローマ 8 : 31、32)

「神は人ではないから、偽ることはない。人の子ではないから、悔いることはない。言われたことを、なされないことがあろうか。告げられたことを、成就されないことがあろうか。」(民数記 23 : 19)

「あなたは知らなかったか、あなたは聞かなかったか。主はとこしえの神、地の果の創造者であって、弱ることなく、また疲れることなく、その知恵ははかりがたい。弱った者には力を与え、勢いのない者には強さを増し加えられる。年若い者も弱り、かつ疲れ、壮年の者も疲れはてて倒れる。しかし主を待ち望む者は新たな力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。」（イザヤ 40：28～31）

神の導きの約束（口語訳）

「わたしはあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おのいてはならない。」（ヨシュア 1：9）

「わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにもあなたを守り、あなたをこの地に連れ帰るであらう。わたしは決してあなたを捨てず、あなたに語った事を行うであらう。」（創世記 28：15）

「見よ、わたしは使をあなたの前につかわし、あなたを道で守らせ、わたしが備えた所に導かせるであらう。」（出エジプト 23：20）

「しかし、その所からあなたの神、主を求め、もし心をつくし、精神をつくして、主を求めるならば、あなたは主に会うであらう。」（申命記 4：29）

「わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。」（エレミヤ 33：3）

「もろもろの谷は高くせられ、もろもろの山と丘とは低くせられ、高底のある地は平らになり、険しい所は平地となる。こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る。これは主の口が語られたのである。」（イザヤ 40：4、5）

「わたしはあなたを教え、あなたの行くべき道を示し、わたしの目をあなたにとめて、さとすであらう。」（詩篇 32：8）

「主はみずからあなたに先立って行き、またあなたと共におり、あなたを見放さず、見捨てられないであらう。恐れてはならない、おのいてはならない。」（申命記 31：8）

「あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。主は、とこしえにいます神／地の果てに及ぶすべてのものの造り主。倦むことなく、疲れることなく／その英知は究めがたい。疲れた者に力を与え／勢いを失っている者に大きな力を与えられる。若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが主に望みを置く人は新たな力を得／鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。」（イザヤ 40：28～31）

神の導きの約束（新共同訳）

「わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。うろたえてはならない。おのいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。」（ヨシュア 1：9）

「見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」（創世記 28：15）

「見よ、わたしはあなたの前に使いを遣わして、あなたを道で守らせ、わたしの備えた場所に導かせる。」（出エジプト 23：20）

「しかしあなたたちは、その所からあなたの神、主を尋ね求めねばならない。心を尽くし、魂を尽くして求めるならば、あなたは神に出会うであらう。」（申命記 4：29）

「わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなたの知らない隠された大いなることを告げ知らせる。」（エレミヤ 33：3）

「谷はすべて身を起し、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。主の栄光がこうして現れるのを／肉なる者は共に見る。主の口がこう宣言される。」（イザヤ 40：4、5）

「わたしはあなたを目覚めさせ／行くべき道を教えよう。あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。」（詩編 32：8）

「主御自身があなたに先立って行き、主御自身があなたと共におられる。主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。恐れてはならない。おのいてはならない。」（申命記 31：8）

「主を恐れる人はだれか。主はその選ぶべき道をその人に教えられる。」(詩篇 25 : 12)

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識によつてはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」(箴言 3 : 5、6)

「飢えた者にあなたのパンを施し、苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、あなたの光は暗きに輝き、あなたのやみは真昼のようになる。主は常にあなたを導き、良き物をもってあなたの願いを満ち足らせ、あなたの骨を強くされる。あなたは潤った園のように、水の絶えない泉のようになる。」(イザヤ 58 : 10、11)

「彼らが呼ばないさきに、わたしは答え、彼らがなお語っているときに、わたしは聞く。」(イザヤ 65 : 24)

心を造り替えてくださる

約束(口語訳)

「わたしは彼らにわたしが主であることを知る心を与えよう。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らは一心にわたしのもとに帰ってくる。」(エレミヤ 24 : 7)

「そしてあなたの神、主はあなたの心とあなたの子孫の心に割礼を施し、あなたをして、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主を愛させ、こうしてあなたに命を得させられるであろう。」(申命記 30 : 6)

「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。」(エゼキエル 36 : 26)

「そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。」(ピリピ 1 : 6)

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」(コリント 2・5 : 17)

「わたしはキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはやわたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子

「主を畏れる人は誰か。主はその人に選ぶべき道を示されるであろう。」(詩編 25 : 12)

「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず、常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」(箴言 3 : 5、6)

「飢えている人に心を配り／苦しめられている人の願いを満たすなら／あなたの光は、闇の中に輝き出で／あなたを包む闇は、真昼のようになる。主は常にあなたを導き／焼けつく地であなたの渴きをいやし／骨に力を与えてくださる。あなたは潤された園、水の涸れない泉となる。」(イザヤ 58 : 10、11)

「彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え／まだ語りかけている間に、聞き届ける。」(イザヤ 65 : 24)

心を造り替えてくださる

約束(新共同訳)

「そしてわたしは、わたしが主であることを知る心を彼らに与える。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らは真心をもってわたしのもとへ帰って来る。」(エレミヤ 24 : 7)

「あなたの神、主はあなたとあなたの子孫の心に割礼を施し、心を尽くし、魂を尽くして、あなたの神、主を愛して命を得ることができるようになしてくださる。」(申命記 30 : 6)

「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。」(エゼキエル 36 : 26)

「あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。」(フィリピ 1 : 6)

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」(コリント 2・5 : 17)

「わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する

を信じる信仰によって、生きているのである。」(ガラテヤ 2 : 19、20)

「どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるよう。また、あなたがたの霊と心とからだを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるよう。あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。」(テサロニケ 1・5 : 23、24)

赦しの約束 (口語訳)

「わたしの名をもってとなえられるわたしの民が、もしへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道を離れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす。」(歴代誌下 7 : 14)

「主よ、あなたは恵み深く、寛容であって、あなたに呼ばれるすべての者にいつくしみを豊かに施されます。」(詩篇 86 : 5)

「また立って祈るとき、だれかに対して、何か恨み事があるならば、ゆるしてやりなさい。そうすれば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのあやまちを、ゆるして下さるであろう。」(マルコ 11 : 25)

「互に情深く、あわれみ深い者となり、神がキリストにあってあなたがたをゆるして下さったように、あなたがたも互にゆるし合いなさい。」(エペソ 4 : 32)

「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」(ヨハネ 1・1 : 9)

「主は言われる、さあ、われわれは互に論じよう。たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。」(イザヤ 1 : 18)

「わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。」(イザヤ 43 : 25)

「わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない。」(エレミヤ 31 : 34)

信仰によるものです。」(ガラテヤ 2 : 19、20)

「どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。あなたがたをお招きになった方は、真実で、必ずそのとおりにしてくださいます。」(テサロニケ 1・5 : 23、24)

赦しの約束 (新共同訳)

「もしわたしの名をもって呼ばれているわたしの民が、ひざまずいて祈り、わたしの顔を求め、悪の道を捨てて立ち帰るなら、わたしは天から耳を傾け、罪を赦し、彼らの大地をいやす。」(歴代誌下 7 : 14)

「主よ、あなたは恵み深く、お赦しになる方。あなたを呼ぶ者に／豊かな慈しみをお与えになります。」(詩編 86 : 5)

「また、立って祈るとき、だれかに対して何か恨みに思うことがあれば、赦してあげなさい。そうすれば、あなたがたの天の父も、あなたがたの過ちを赦して下さる。」(マルコ 11 : 25)

「互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦して下さったように、赦し合いなさい。」(エフェソ 4 : 32)

「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」(ヨハネ 1・1 : 9)

「論じ合おうではないか、と主は言われる。たとえ、お前たちの罪が緋のようでも／雪のように白くすることができる。たとえ、紅のようであっても／羊の毛のようになることができる。」(イザヤ 1 : 18)

「わたし、このわたしは、わたし自身のために／あなたの背きの罪をぬぐい／あなたの罪を思い出さないことにする。」(イザヤ 43 : 25)

「わたしは彼らの悪を赦し、再び彼らの罪に心を留めることはない。」(エレミヤ 31 : 34)

「わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。」(エペソ 1:7)

罪への勝利の約束 (口語訳)

「なぜなら、すべて神から生れた者は、世に勝つからである。そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。」(ヨハネ 1:5:4)

「しかし、わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。」(ローマ 8:37)

「しかし感謝すべきことには、神はわたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである。」(コリント 1:15:57)

「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。」(イザヤ 41:10)

「その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。」(エペソ 6:16)

「わたしはキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。」(ガラテヤ 2:19、20)

「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。」(ピリピ 2:13)

「わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。」(ガラテヤ 5:16)

「平和の神は、サタンをすみやかにあなたがたの足の下に踏み砕くであろう。どうか、わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。」(ローマ 16:20)

「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。」(エフェソ 1:7)

罪への勝利の約束 (新共同訳)

「神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。」(ヨハネ 1:5:4)

「しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。」(ローマ 8:37)

「わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう。」(コリント 1:15:57)

「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。」(イザヤ 41:10)

「なおその上に、信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者の放つ火の矢をことごとく消すことができるのです。」(エフェソ 6:16)

「わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。」(ガラテヤ 2:19、20)

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」(フィリピ 2:13)

「わたしが言いたいのは、こういうことです。霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」(ガラテヤ 5:16)

「平和の源である神は間もなく、サタンをあなたがたの足の下で打ち砕かれるでしょう。わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。」(ローマ 16:20)

「あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。」（ローマ 12：2）

「世と世にあるものとを、愛してはいけない。もし、世を愛する者があれば、父の愛は彼のうちにない。」（ヨハネ 1・2：15）

癒しの約束（口語訳）

「言われた、『あなたが、もしあなたの神、主の声に良く聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病の一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである。』」（出エジプト 15：26）

「あなたの貫の木は鉄と青銅、あなたの力はあなたの年と共に続くであろう。」（申命記 33：25）

「わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを墓からあがないだし、いつくしみと、あわれみとをあなたにこうむらせ、あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたを飽き足らせられる。こうしてあなたは若返って、わしのように新たになる。」（詩篇 103：2～5）

「自分を見て賢いと思ってはならない、主を恐れて、悪を離れよ。そうすれば、あなたの身を健やかにし、あなたの骨に元気を与える。」（箴言 3：7、8）

「彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。また顔をおおって忌みきらわれる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだ。しかし彼はわれわれのことがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲しめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」（イザヤ 53：3～5）

「主よ、わたしをいやしてください、そうすれば、わたしはいえます。わたしをお救いください、そうすれば

「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしてお自分を变えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。」（ローマ 12：2）

「世も世にあるものも、愛してはいけません。世を愛する人がいれば、御父への愛はその人の内にありません。」（ヨハネ 1・2：15）

癒しの約束（新共同訳）

「言われた。「もしあなたが、あなたの神、主の声に必ず聞き従い、彼の目にかなう正しいことを行い、彼の命令に耳を傾け、すべての掟を守るならば、わたしがエジプト人に下した病をあなたには下さない。わたしはあなたをいやす主である。」」（出エジプト 15：26）

「あなたの力はとこしえに続く。」（申命記 33：25）

「わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。主はお前の罪をことごとく赦し／病をすべて癒し、命を墓から贖い出してください。慈しみと憐れみの冠を授け、長らえる限り良いものに満ち足らせ／驚のような若さを新たにしてください。」（詩編 103：2～5）

「自分自身を知恵ある者と見るな。主を畏れ、悪を避けよ。そうすれば、あなたの筋肉は柔軟になり／あなたの骨は潤されるであろう。」（箴言 3：7、8）

「彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。」（イザヤ 53：3～5）

「主よ、あなたがいやしてくださるなら／わたしはいやされます。あなたが救ってくださるなら／わたしは

ば、わたしは救われます。あなたはわたしのほめたたえる者だからです。」(エレミヤ 17 : 14)

「主は言われる、わたしはあなたの健康を回復させ、あなたの傷をいやす。」(エレミヤ 30 : 17)

「見よ、わたしは健康と、いやしとを、ここにもたらし、人々をいやし、豊かな繁栄と安全とを彼らに示す。」(エレミヤ 33 : 6)

「しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。あなたがたは牛舎から出る子牛のように外に出て、とびはねる。」(マラキ 4 : 2)

「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を注いで祈ってもらうがよい。信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。」(ヤコブ 5 : 14、15)

神のみ心を行う力の約束 (口語訳)

「主を待ち望め、強く、かつ雄々しくあれ。主を待ち望め。」(詩篇 27 : 14)

「だから、わたしたちは落胆しない。たとえわたしたちの外なる人は滅びても、内なる人は日ごとに新しくされていく。なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。」(コリント 2・4 : 16~18)

「わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。」(ガラテヤ 6 : 9)

「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができ。」(ピリピ 4 : 13)

「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。」(ピリピ 2 : 13)

「ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完

しは救われます。あなたをこそ、わたしはたたえます。」(エレミヤ 17 : 14)

「さあ、わたしがお前の傷を治し／打ち傷をいやそう、と主は言われる。」(エレミヤ 30 : 17)

「しかし、見よ、わたしはこの都に、いやしと治癒と回復とをもたらし、彼らをいやしてまことの平和を豊かに示す。」(エレミヤ 33 : 6)

「しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには／義の太陽が昇る。その翼にはいやす力がある。あなたたちは牛舎の子牛のように／躍り出て跳び回る。」(マラキ 3 : 20)

「あなたがたの中で病気の人は、教会の長老を招いて、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい。信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯したのであれば、主が赦してくださいます。」(ヤコブ 5 : 14、15)

神のみ心を行う力の約束 (新共同訳)

「主を待ち望め／雄々しくあれ、心を強くせよ。主を待ち望め。」(詩編 27 : 14)

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらししてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」(コリント 2・4 : 16~18)

「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることになります。」(ガラテヤ 6 : 9)

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」(フィリピ 4 : 13)

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」(フィリピ 2 : 13)

「すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言

全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ喜んで自分の弱さを誇ろう。」(コリント 2・12:9)

神の証人としてくださる

約束(口語訳)

「恐れてはならない、またおののいてはならない。わたしはこの事を昔から、あなたがたに聞かせなかったか、また告げなかったか。あなたがたはわが証人である。わたしのほかに神があるか。わたしのほかに岩はない。わたしはそのあることを知らない。」(イザヤ 44:8)

「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。」(イザヤ 60:1)

「しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。」(コリント 2・5:18)

「しかし主はわたしに言われた、『あなたはただ若者にすぎないと言ってはならない。だれにでも、すべてわたしがつかわす人へ行き、あなたに命じることをみな語らなければならない。』」(エレミヤ 1:7)

「ただ、聖霊があなたがたにくる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」(使徒行伝 1:8)

「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべき光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。」(ペテロ 1・2:9)

「ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。しかし、やさしく、慎み深く、明らかな良心をもって、弁明しなさい。」(ペテロ 1・3:15、16)

われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。」(コリント 2・12:9)

神の証人としてくださる

約束(新共同訳)

「恐れるな、おびえるな。既にわたしはあなたに聞かせ／告げてきたではないか。あなたたちはわたしの証人ではないか。わたしをおいて神があるうか、岩があるうか。わたしはそれを知らない。」(イザヤ 44:8)

「起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り／主の栄光はあなたの上に輝く。」(イザヤ 60:1)

「これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。」(コリント 2・5:18)

「しかし、主はわたしに言われた。『若者にすぎないと言ってはならない。わたしがあなたを、だれのところへ／遣わそうとも、行って／わたしが命じることをすべて語れ。』」(エレミヤ 1:7)

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」(使徒言行録 1:8)

「しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れて下さった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。」(ペテロ 1・2:9)

「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい。それも、穏やかに、敬意をもって、正しい良心で、弁明するようにしなさい。」(ペテロ 1・3:15、16)